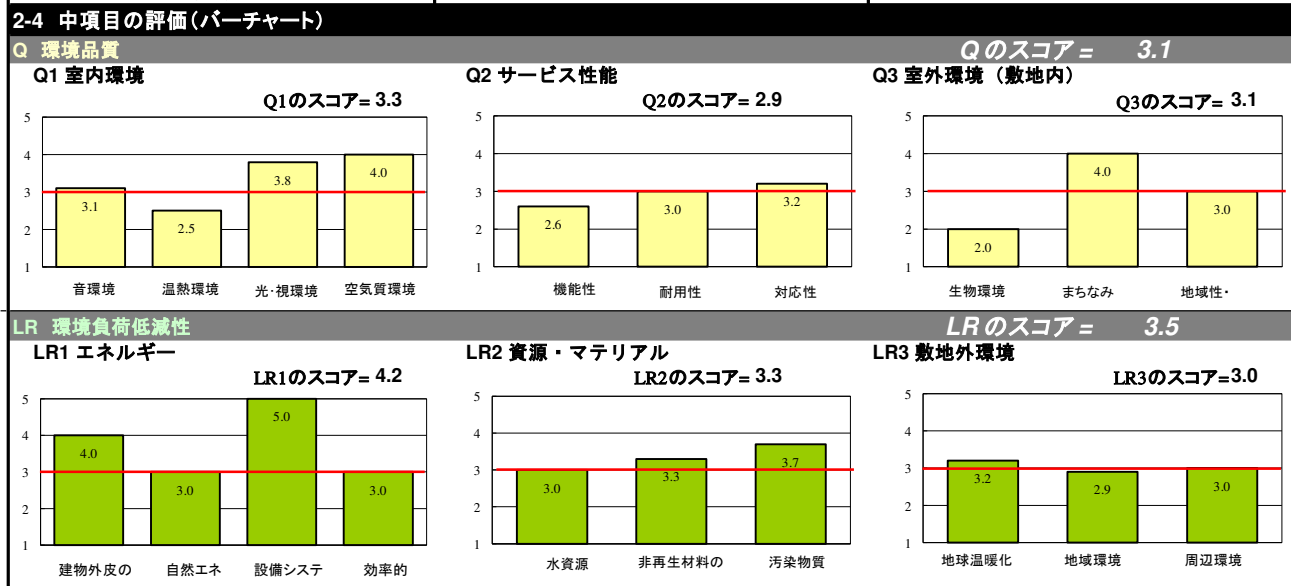
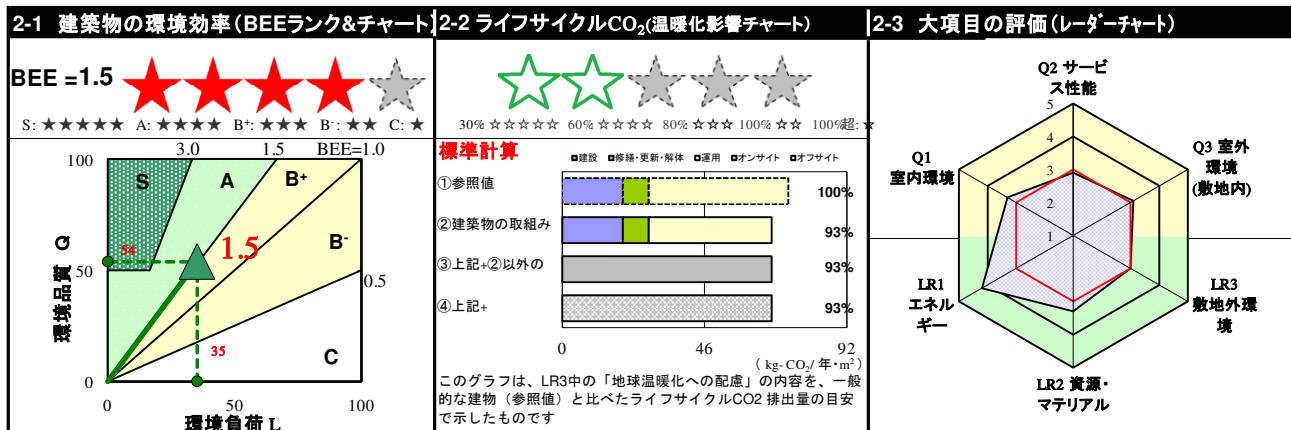


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東大阪市営北蛇草住宅C棟建替事業	階数	地上 9F
建設地	大阪府東大阪市長瀬町	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	157 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	令和8年4月 予定	評価の実施日	2024年11月28日
敷地面積	5,478 m ²	作成者	今西良一
建築面積	843 m ²	確認日	2024年11月28日
延床面積	4,491 m ²	確認者	今西良一



3 設計上の配慮事項		
総合		
省エネルギーや耐久性に配慮して、地球温暖化防止・ヒートアイランド現象の緩和を図っている。		
その他 特になし		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
重量床衝撃音対策等級3 省エネルギー対策等級4	耐用年数の長い材料を使用し、建物が長期間使用できるように配慮している。 劣化対策等級: 等級3	敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明や潜熱回収型給湯器を採用し省エネルギーを図っている。	節水器具の利用により、節水を図っている。分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。	ライフサイクルCO ₂ を削減し、地球温暖化防止を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		東大阪市宮北蛇草住宅C棟建替事業						
建設地		大阪府 東大阪市長瀬町						
用途／区分		集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	断熱性能						4	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					4	
④	エネルギー消費性能						5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					2	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告						対象外	
-------------	--	--	--	--	--	-----	--

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	4.0	4
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		